

あさひ議会だより

26号
平成24年
9月1日
発行



おもな内容

議案の内容と審査結果	2~4
第2回定例会の日程	3
請願・陳情の審査結果	4
主な議案質疑	4
一般質問	5~9
行政視察報告	9
常任委員会の審査	10・11
議長のうごき	11
子ども議会	12

復興元年
勇気・元気・復興への道をスローガンに第58
回旭市七夕市民まつりが盛大に行われました

平成24年度 旭市一般会計補正予算

東日本大震災復興交付金基金積立金などに
4億8,600万1,000円を追加

第2回定例会のあらまし

平成24年第2回定例会が、6月5日から6月20日までの16日間の会期で開かれました。開会日には、林一哉議長の議長辞職に伴い議長選挙が行われ、林俊介議員が新議長に当選されました。この定例会には、平成24年度旭市一般会計補正予算、条例の制定・一部改正、専決処分の承認など14議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

6月11・12日には一般質問が行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。最終日の6月20日には、委員会から3件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

議長就任

旭市議会第7代議長に就任した
林俊介議長



議案の内容と審査結果

補正予算

■議案第1号

平成24年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出予算の総額に4億8,600万1,000円を追加し、予算の総額を269億800万円とするものです。

歳入の主なものは、東日本大

震災復興交付金1億6,511万7,000円、がんばろう千

葉市町村復興交付基金交付金1億7,600万、東日本大震災

復興交付基金繰入金1億1,411万7,000円などです。

歳入の主なものは、災害復興基金積立金に1億7,600万円、東日本大震災復興交付基金積立金に1億6,511万7,000円、災害に強い地域づく

条例の制定・一部改正

■議案第2号

旭市東日本大震災復興交付基金条例の制定について (可決)

国からの復興交付金を受け、基金を設置するものです。

■議案第3号

旭市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について (可決)

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部改正により、所要の改正を行うものです。

■議案第4号

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

危険物の規制に関する政令の一部改正により、所要の改正を行うものです。

■議案第5号

旭市学校給食センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

新たな第二学校給食センターの建設に伴い、現在の第二及び第三学校給食センターを廃止するものです。

■議案第6号

旭市病院事業使用料及び手数料



第2回定例会の日程

6月5日(火) (開会)

- 人事の紹介
- 表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

◇追加日程

- 議長辞職の件
- 議長選挙の件

6月7日(木)

- 議案の質疑

◇追加日程 <討論・採決>

- 常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

6月11日(月)

- 市政に関する一般質問

6月12日(火)

- 市政に関する一般質問

6月14日(木)

- 建設経済常任委員会

6月15日(金)

- 文教福祉常任委員会

6月18日(月)

- 総務常任委員会

6月20日(水)

◇追加日程

- 発言の取り消し
 - 常任委員長の議案・請願・陳情報告
- #### <質疑・討論・採決>

◇追加日程

- 発議案の上程
 - 提案理由の説明
- #### <質疑・討論・採決>

- 議員派遣の件
- 事務報告

(閉会)



永年勤続表彰

第88回全国市議会議長会の定期総会で、旭市議会正副議長として、4年以上在職し、市政の振興に努められた功績により、林一哉議長が特別表彰されました。



林一哉前議長

おめでとつございます。

条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

旭市民以外を対象に時間外選定療養費を新たに徴収することとし、また、新生児管理保育料の見直しを行うものです。

人事

■議案第7号

旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

(同意)

現委員1名の任期が来る8月18日に満了となるため、後任を任命するにあたり、議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 石井勝也 氏 (萬歳)

■議案第8号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

(同意)

現委員1名の任期が来る9月30日に満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦す

るにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

再任 鈴木節夫 氏 (萬力)

財産の取得

■議案第9号

財産の取得について(消防救急デジタル無線装置一式) (可決)

● 取得金額 8,085万円

● 契約の相手方 千葉市中央区都町1254番地6 スイス通信システム株式会社

そのほかの議案

■議案第10号

和解及び損害賠償の額を定める

ことについて (可決)

市有自動車による人身事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることにつき、議会の議決を求めるものです。

専決処分

■議案第11号

専決処分の承認について(東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例) (承認)

東日本大震災の被災者に対する、国民健康保険税の減免措置を延長するにあたり、専決処分をしたものです。

■議案第12号

専決処分の承認について(旭市

税条例の一部を改正する条例) (承認)

■議案第13号
専決処分の承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例) (承認)

■議案第14号

専決処分の承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) (承認)
地方税法等の改正に伴い、専決処分をしたものです。

委員会提出議案

■発議第1号

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について (可決)

■発議第2号

国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書の提出について (可決)

■発議第3号

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める意見書の提出について (可決)

報告

■報告第1号

平成23年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

■報告第2号

平成23年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について

■報告第3号

平成23年度旭市水道事業会計予算繰越計算書について

■報告第4号

平成23年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について

■報告第5号

平成23年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について

■報告第6号

旭市土地開発公社の事業経営状況について

■報告第7号

財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

■報告第8号

専決処分の報告について(損害賠償の額の決定)

請願・陳情の審査結果

第2回定例会では、請願2件と陳情2件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願	採 択
請願第3号	国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	採 択
陳情第1号	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める陳情	採 択
陳情第2号	住民の安心・安全を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	不採択

主な議案質疑

■議案第1号

平成24年度旭市一般会計補正予算の議決について

Q 消防費の災害に強い地域づくり事業で、津波対策詳細検討支援業務委託料の具体的な内容について、お尋ねします。

A 災害に強い地域づくり事業は、国の交付金事業に該当し、財政面で有利な事業となることから、今回補正を行うものです。

津波に対するまちづくりに必要な計画で、ハード対策を行うための具体的な計画をつくるための委託料です。津波避難道路や、津波避難施設等の詳細な検討、避難所等の設備の検討等を行うものです。

Q 教育費の放課後児童クラブ室建設事業で児童クラブ建設工事3,140万円の具体的な内容について、お尋ねします。

A 共和小学校に約40坪(約130㎡)で整備を予定しています。

具体的には、子どもたちが活動する生活室、男女別のトイレ、

障害者用のトイレ、湯沸し室、静養室等を予定しています。

■議案第6号

旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について

Q 時間外選定療養費は一律5,250円なのか、時間外選定療養費の具体的な内容と、保険の適用についてお尋ねします。

A 緊急性の高い患者や入院治療が必要な重症な患者を優先するために、旭市民以外を対象に、軽傷者から選定療養費として一律5,250円を負担いただくものです。

なお、時間外選定療養費は保険が適用されません。

Q 新生児保育管理料を8,000円から1万円に上げることは、少子高齢化で子育て支援に反するよう思うが、行政として新生児に対する応援を、どのようにして行くのか。

A 高齢出産が増加している中で、新生児に対するリ

スクも増加しています。こうしたリスクを最小限に抑えるために検査項目を追加したり、専門の医師の診察を充実する等、サービスの向上を図るものです。

■議案第10号

和解及び損害賠償の額を定めることについて

Q 市が和解して払う損害賠償額420万244円の、支払い方法についてお尋ねします。

A 市で加入している全国市有物件災害共済会から被害者に直接支払われるものです。



旭中央病院

一般質問

市政に関する一般質問は6月11・12日の2日間行われ、9人の議員が登壇しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

道の駅

道の駅の具体的な内容は

Q 根強い反対があるにもかかわらず、市長が強く推

進する道の駅建設構想は、景気が回復して、人の動きが活発になってからならともかく、現在の経済状況で強行するのは極めて危険だと言えます。どのような駅にするのか、総予算、場所、運営形態について、市長の意見が示されていないのでご説明願います。

A 運営形態、設置場所、駅長の選定、直売施設に納品する生産者の募集、組織等、道の駅建設準備委員会で重要な項目を検討していただいています。最低限、駐車場、トイレ、直売所、レストラン、休憩施設や多目的広場等を設置し、規模はオライはすぬまの1・5倍くらいと考えています。

交流の場、地域の拠点となる道の駅の設置を

Q 旭市の農業の産出額はおよそ420億円で、千葉県第1位の生産高を誇っています。農水商工業が連携し、地産地消に取り組み、交流の場として、また情報発信基地として地域の拠点となる道の駅の設置が望ましいと思うが市長の考えは

A 旭市は復興という大きな目標がある中で、道の駅を復興のシンボルにしたいと考えています。旭市の農水産物は、全国トップクラスの産出を誇るものがあります。観光や文化を全国のよりに多くの人に知ってもらうための施設、交流の拠点として、また経済活性化、地域振興にも大いに役立てるとともに、今回の東日本大震災の教訓を生かし、防災機能にも配慮した旭市らしい道の駅を設置したいと考えています。

中央病院

検討委員会の設置を

Q 4月からの旭中央病院の医師減員による外来縮小、救急の受け入れ制限は大きな反

響を呼び、マスコミでも報道されました。一般的に医師の立ち去りが始まった公立病院は、早急に対応しなければ、翌年にはさらに悪い結果に見舞われます。

強い危機感を抱いた議員が、総合病院国保旭中央病院あり方検討委員会設置条例案を作成しました。中央病院を守ることに本条例案について、考えをお聞かせ願います。

また、検討委員会については、公の利益を最優先する一流の有識者を招聘していただきたいと思いを。

A 医師確保や環境の整備等、検討するときだと私も思います。今議会が終わりましたら要綱を作りたいと考えています。なお、検討委員会については、経営形態に詳しい方を講師に迎えて説明会を行った上で、有識者をまじえた検討委員会を設置します。

ハイブリット手術室の建設費用は

Q 中央病院のハイブリット手術室の建設費用及び手術件数と高度な手術の件数についてお尋ねします。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



大塚 祐司 議員

- 1 産業まつり・ふるさとまつりについて
- 2 道の駅について
- 3 公共施設及びインフラの更新について
- 4 学童保育について
- 5 消防団員の勧誘について
- 6 千葉県地域医療再生プログラムについて
- 7 旭市の医療行政について



滑川 公英 議員

- 1 旭中央病院の現況について
- 2 仮設住宅入所者の退去後の住宅について
- 3 中心市街地活性化を図る街コンの導入を
- 4 大震災で中断されていた旭

A ハイブリッド手術室は、血管造影装置と手術台を融合したもので血管造影を伴う手術に対応するため、新たに導入したもので、機器の費用は1億7,200万円です。平成23年5月16日から稼働しており、平成23年度の手術件数は59件でした。

また、高度な手術の件数ですが、平成23年度の手術件数は病院全体で8,232件、このうち高度な手術の一例である膀胱がんの手術が258件、大腸がんが191件です。特に膀胱がんの手術件数は、全国でもトップ



ハイブリッド手術室

プレベルで、平成22年度の手術件数は282件、全国第3位となっています。

退職した医師への聞き取り調査の内容は

Q 旭中央病院の内科、救急救命科を退職した医師に聞き取り調査をした、詳細な内容についてご報告いただきたい。

A 個別にヒアリングを行った内容で、特に若い医師の場合は、キャリアアップの環境として、当初から2年または3年で次の病院へ変わろうと決めていた方もかなりいました。また医師本人の個別の事情により、今回退職されたという方もいました。

具体的な内容としては、当初から決めていた方については、その期限が来たからやめますという方、配偶者の生活面や子どもの教育等によって退職を決めた方、また病院の待遇・処遇面について、幾分のところがあつたという方もいました。大きく分けて、病院面での処遇の改善に関するもの、あるいは地域という面のもの、この2つに分かれる状況でした。

防災

津波の記憶を風化させないために

Q 津波の記憶は長い間には風化してしまいます。津波の痕跡、高さを後生に残す表示板を設置していただきたい。

A 海抜表示板等を増設していく予定です。その中で併せて設置するのか、また別立てで設置するのか、設置場所など、十分検討していきたいと思っています。

公共施設の非構造部材の耐震化は

Q 市民からの要望で、一番多い声は防災です。昨年、東京で天井落下事故があり、建物そのものの耐震はあつても、天井や照明器具など非構造部材の耐震化がクローズアップされました。体育館、学校、その他の公共施設の天井、照明取り付け器具やガラスといった非構造部材の耐震は大丈夫なのか。

A 東日本大震災で、被災した市内の建築物被害のほとん

んどが非構造部材でした。小・中学校の校舍等の耐震化率は94・52%で耐震化は進んでいますが、それ以外の非構造部材の耐震化はまだまだ対応、点検等が必要だと考えています。

今回、震災で滝郷小体育館の天井が最も大きく被災しましたが、国庫補助事業の災害復旧工事により、天井下地材の揺れ止めを補強するなど、耐震化対策を実施しました。また、天井吊りの器具等で被害があつた箇所は、専門業者による安全点検を実施しました。そのほか被害のなかつた施設においては、天井材破損の有無など、目視による点検を実施しました。

海上公民館、千潟公民館、いおかユートピアセンターの天井や取り付け器具などの耐震状況は、東日本大震災以降、職員が目視で確認し、いずれも問題のない状況と判断しています。

保健

ロタウイルスワクチン接種の助成を

市のイメージキャラクター、B・1グルメ等の施策について



平野 忠作 議員

- 復興計画について
- 道の駅等の設置について
- 夏期観光について



高橋 利彦 議員

- 職員の採用について
- 行財政改革について
- 中央病院について
- 食彩の宿いおか荘について
- 全国学力テストについて



島田 和雄 議員

- 旭市総合計画前期基本計画の財政運営の実績について
- 旭市総合計画後期基本計画の財政推計について
- 交付税一本算定時の収支見

Q 生後6か月から5歳までに95%以上の乳幼児がロタウイルス胃腸炎に感染します。昨年11月21日に、日本でもワクチンが販売されましたが、ロタウイルスワクチンについてお尋ねします。

このロタウイルスワクチン予防接種費用に対して大田原市が半額助成を始めました。また、東日本大震災の被災地の大船渡市などでも無料接種を実施して、感染拡大を防止する取り組みが行われています。旭市でも予防接種の周知徹底を図るとともに、この接種に対して公費助成はできないか。

A ロタウイルスワクチンは、ロタウイルスによる胃腸炎を予防するものです。ワクチンは、日本では平成23年7月と平成24年1月に承認され、現在2種類のワクチンがあります。接種方法は経口接種で、ワクチンの種類により2回または3回の接種となります。現在、予防接種法に基づかない任意予防接種であり、接種費用は個人負担で、1回当たり1万5,000円程度となっています。市内の対象者は、年間で約600人程度になる見込みです。

現在、千葉県内で公費負担をしている自治体はありませんが、全国では22の団体で行っています。公費負担については、現時点では考えていませんが、今後、国及び県内の動向を注視していきたいと思っています。

福祉

医療費助成の拡充を

Q 旭市では、小学校3年生まで医療費が無料になっていますが、現在、中学生で子宮頸がんが増していると聞いています。東京都では、子宮頸がん検診の無料券を発行し、中学生3年生まで医療費も無料となっています。

旭市としても子宮頸がん検診のみならず、医療費の無料化を中学3年生までできないか。

A 子ども医療費助成事業は、県基準が改正され、平成24年12月診療分から入院医療費が、小学校3年生から中学校3年生まで対象年齢が拡大されます。市でも、子育て世帯の経済的負担が大きい入院医療費に対

して、県基準に準じて12月診療分から実施することとしました。なお、通院医療費については、県及びすでに実施している先進市の動向を見ながら検討していきたいと考えています。

子宮頸がんワクチン予防接種費用については、中学1年生から高校1年生までを対象に助成しています。また、子宮頸がん検診については、20歳以上を対象として実施しており、20歳から40歳までの5歳刻みによる節目の方に対して検診無料クーポン券を発行し、受診を勧奨しています。

今後も子宮頸がんワクチン接種による予防並びに子宮頸がん検診による早期発見・早期治療を図っていきます。

環境

再生可能エネルギーの普及促進を

Q 7月から再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が始まります。再生可能エネルギーは「国産、再生可能、クリーン」なエネルギーとして

期待が高まっています。旭市でもこれを推進し、エネルギーの地産地消ができれば素晴らしいことと思います。旭市で発電されている再生可能エネルギーはどれくらいか。市としては再生可能エネルギーの普及促進にどのような考えを持っているのか。

A 市内における再生可能エネルギーの設置状況ですが、太陽光発電設備の設置数は401件、総発電能力は1,663キロワット時です。また、風力発電設備ですが、2企業が6台、発電の総出力は5,750キロワット時です。そのほかの再生可能エネルギーの施設については、市では把握していません。

普及促進については、本市においては住宅用太陽光発電システム設置助成事業を実施しています。これらが市民の取り組みやすい発電方法ということで、この取り組みによって現下の節電対策または地球温暖化の防止に大きく役立つことから、市のホームページまたは広報あさひにより、これらの事業の普及促進を図っていききたいと考えています。

- 4 通しについて
- 5 ふるさと納税について
- 6 防災施設について
- 再生可能エネルギーについて



伊藤 保
議員

- 1 耐震について
- 2 補助金について
- 3 消防車両配備について
- 4 予防ワクチンについて



伊藤 房代
議員

- 1 児童福祉について
- 2 高齢者福祉について
- 3 放置自転車整備について
- 4 仮設住宅入居者のアンケートの結果について



太田 將範
議員

- 1 一般廃棄物処理行政について
- 2 地域医療について

ごみ分別の教育は

Q 鎌倉市ではごみ処理の啓発事業として、小学校でゲーム化した分別の学習を行っています。お父さんやお母さんが間違っごみを出す子どもに注意されるそうです。旭市でも教育委員会等と協力して、学校でごみ教育はできないか。

A ごみの減量化、資源化の観点から、クリーンセンターで市内の小学生または一般の方の見学について積極的に取り組んでいます。平成23年度の実績は、小学生を対象とした見学会で市内15校、665人の児童が見学しています。

そのほかに、子どもたちへ教育委員会を通じて、「わたしたちの旭市」という副読本を配付しています。その中で、ごみ処理について、約13ページにわたって学習の一環として取り組んでいただいている状況です。

産業

イメージキャラクター、B級グルメの進捗状況は

Q 大震災で中断されていた旭市のイメージキャラクター、B級グルメの施策についてどのようになっているのか。

A 旭市のイメージキャラクターは、本年度中に作成する予定で準備を進めているところです。7月に(仮称)旭市イメージキャラクター製作審査委員会を設置し、募集要項などの作成を行い、9月には小学生以上の市民を対象に公募を開始したいと考えています。その後、審査委員会で応募作品から1点を選び、製作会社に着ぐるみ等の作成を発注する予定です。

また、B級グルメについては、PRイベント等の開催情報の提供やホームページ、広報等による市内外への周知など、応援していきたいと考えています。

まちづくり

干潟駅前の環境整備を

Q 干潟駅の横に自転車置き場、駐輪場を整備していただけではないか。

A 干潟駅周辺には公有地が少なく、駅西側の公園が200平方メートル余りあります。民間の自転車預かり所との関係もしつかりと整理した中で、駅周辺の環境整備の一環として駐輪場を設置できるか検討していきたいと思えます。

Q 合併による財政メリットの終了期限に合わせた体質づくりが喫緊の課題です。行

A 平成26年度を目標に職員のみが掲げられており、行政改革アクションプラン全体としての目標数値や目標削減額は設定されていません。

普通交付税の合併によるメリット額は19億4,909万5,000円になります。また、臨時財政対策債の発行可能額で2億539万4,000円、合わせて21億5,448万9,000円になります。



干潟駅周辺に止められている自転車

財政

合併による財政のメリット等は

Q 合併による財政メリットの終了期限に合わせた体質づくりが喫緊の課題です。行

A 平成26年度を目標に職員のみが掲げられており、行政改革アクションプラン全体としての目標数値や目標削減額は設定されていません。

財政改革の目標年度及び各年度の目標額、平成23年度の合併による交付税のメリット額、平成23年度の銚子市との交付税などの比較、合併による交付税などのメリットの最終年度についてお尋ねします。

平成26年度を目標に職員のみが掲げられており、行政改革アクションプラン全体としての目標数値や目標削減額は設定されていません。

普通交付税の合併によるメリット額は19億4,909万5,000円になります。また、臨時財政対策債の発行可能額で2億539万4,000円、合わせて21億5,448万9,000円になります。

銚子市との交付税等の比較ですが、銚子市の普通交付税額は51億8,062万2,000円、旭市が83億1,544万4,000円です。臨時財政対策債の差異が1億5,916万9,000円で、合わせて32億9,399万1,000円になります。

合併による交付税等のメリットは平成28年度から徐々に下がり、最終年度は平成32年度となります。



日下 昭治 議員

- 1 入札について
- 2 市長の政治姿勢について
- 3 震災復興について

起債と基金の残高は

Q 旭市総合計画の前期基本計画は平成23年度で終了し、計画した事業はおおむね達成されたそうですが、実施前後の財政状況を判断する起債残高及び基金残高は。

A 平成19年度末の起債残高は264億4,200万円余り、交付税の算入見込額が168億円ほどありました。市の実質の負担額は96億円ほどです。

平成23年度末の起債残高は276億7,300万円、交付税の算入見込額が212億3,300万円、市の実質の負担額は64億4,000万円です。実質負担だけで見れば32億円ほど、負担が軽くなっていると考えています。

基金ですが、19年度当初の一般会計分で39億9,700万円、

23年度末では78億6,100万円でした。一般会計の基金は約2倍になっています。

入札

最低制限価格は必要か

Q 入札は競争原理で、発注者が有利な方向でやっつけていかなければならないと思いません。

A 解体工事の場合、マニフェストがついているので、業者が違反した場合には、業者に責任、行政処分があり、最低制限価格を設ける必要はないと思うが。

A 最低制限価格は、今までその都度、業種や入札のたびに変わったことは一切ありません。市民に有利なほうにということですが、あくまでも入札制度の範囲内で実施しています。業種によって最低制限価格を外すこともあり得るのではないかとのご質問ですが、制度上は確かに可能ではありませんが、もう少し検討、研究させていただく必要があると思っています。

入札時の工種の決定方法は

Q 入札する際、施工時の工種を決めますが、現在行われている入札は理解しがたい。同じ工事、同じ業務で施工するのに業種を変えて発注することは明瞭性に欠けると思うが詳しく説明願いたい。

A 施工時の業種の決定の根拠について、第二・第三学校給食センターの解体の件とします。

解体工事を施工できる業種は土木一式、建築一式、とび・土工です。建築の許可業種の中の専門業種の中にとび・土工があり、主な例示に基づいて指定しています。合併以来、解体については、建築一式で行っていました。22年は5件実施してすべて建築一式、23年以降、とび・土工でも可能なため、市では入れるようにしました。

第二学校給食センターをとび・土工としたのは、金額的なものがあります。3,000万円という一つの区切りがあり、とび・土工の専門業種の市内登録業者が5社しかなく、競争性

が保てません。

そのため3,000万円以上については建築一式で出し、より広く市内業者の育成のため、また競争性が確保できるという前提のもとで業種を変えて出しているという状況です。

市有財産

旧海上中学校跡地はどうするのか

Q 旧海上中跡地利用の検討内容についてお尋ねします。

A 未利用資産の利活用に関する有識者会議で、旧海上中グラウンドにも言及があり、基本は処分という形をとっています。具体的な処分方策等、慎重に検討した上で進めていただきたいという意見がありました。



旧海上中跡地

議会だより編集委員会 行政視察報告

議会だより編集委員会は平成24年7月5日と6日に、新潟県村上市・新潟市に行政視察を行いました。

7月5日の村上市では、板垣一徳議長から村上市の概要の説明を受け、鈴木いせ子広報特別委員会委員長、菅井晋一議会事務局長等から議会だよりの編集方法の説明を受け、その後、質疑を行いました。本市の議会だより編集方針等との主な相違点は、次のとおりです。

村上市では一般質問を重視した編集で、一人の議員の質疑応答に紙面の半ページを割り当てています。質問議員が多いときは、ページ数を増やしています。

また、一般質問の掲載内容は、質問議員自らが原稿を作成し、関連する写真も議員が提供しています。

旭市の議会だよりでは、質問議員がどのような内容を質問したのか、一般質問の質問事項一覧を質疑応答欄と照合しなければ分からないが、村上市では、それぞれの議員の



村上市を行政視察した議会だより編集委員会

質疑応答が半ページにまとめられているので、一目瞭然です。

さらに、常任委員会の掲載記事は、副委員長が原稿を作成し、議会に提案された、議案の賛否は会派別に掲載されます。

視察結果を踏まえて委員会で紙面改善のため論議をしています。皆様の御意見を拝聴し、更に市民にわかりやすく、親しまれる議会だよりにしたいと思っています。

翌日の7月6日には新潟市の朱鷺メッセや新潟ふるさと村などを視察しました。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会



空の駅 風和里しばやまを視察した建設経済常任委員

6月14日(木)午前10時より、本委員会が開催され、付託された2議案の審査を行いました。

議案第1号平成24年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「市街地液状化対策事業について、2か年にわたり事業を実施することだが、具体的な事業内容は。」との質疑では、「平成24年度については、液状化被害のあった地域を詳しく調査し、専門家による検討委員会での対策事業施行地区の第1次絞込みを行い、平成25年度では、具体的なボーリング調査を実施し、事業施行地区の最終絞込みを行う。また、液状化対策の工法選定、事業費および負担額について、地区住民の方々に説明をしていく予定である。」との答弁がありました。

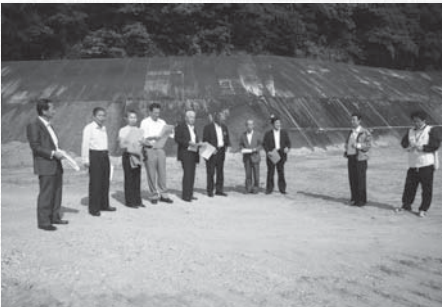
文教福祉常任委員会

6月15日(金)午前10時より、本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

議案第1号平成24年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「共和小学校の放課後児童クラブについての新たな施設をつくることだが、他の学校からも要望はあるのか。」との質疑では、「施設が狭く改善をお願いしたいという声があるのでいる学校もある。今後は、放課後児童クラブ希望者の推移をみながら、関係各課と協議し検討していきたい。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、3議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて請願第2号義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書に関する請願、請願第3号国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願の審査では、「日本国憲法第26条で、義務教育はこれを無償とする」と規定されている



最終処分場を視察した文教福祉常任委員

総務常任委員会



JA富里市産直センターを視察した総務常任委員

6月18日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された9議案の審査を行いました。

議案第1号平成24年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「総務費の「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金の目的と交付基準はどのようになっているのか。」との質疑では、「県では、復興関連のソフト事業を対象に交付すること。また、交付基準は、人口割や被災者割等を基準として、算出されている。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、9議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決承認すべきものと決しました。

続いて陳情第2号住民の安心・安全を支える公

その他の議案についても、慎重審査の結果、2議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。
委員会の審査終了後、芝山町の空の駅「風和里しばやま」などを視察しました。

ことから、2件の請願には賛成。」との意見があり、請願2件とも、全員賛成で、採択と決しました。
また陳情第1号原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める陳情の審査では、特に意見等はなく、全員賛成で、採択と決しました。
委員会の審査終了後、最終処分場のグリーンパークなどを視察しました。

務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情の審査では、「国ではアクションプランを進めており、行政改革に逆行することになるのではないか。」との意見が出され、審査の結果、賛成多数で、不採択と決しました。
委員会の審査終了後、富里市の農産物直売施設や道の駅などを視察しました。

議長の つとめ

●平成24年3月東総広域水道企業団議会定例会

〈4月〉

●あさひパークゴルフ場再オープン記念セレモニー

●第16回袋公園桜まつり

●うなかも幼稚園入園式

●千葉県市議会議長会役員会

●旭中央病院附属看護専門学校入学式

●旭市保健推進員委嘱書交付式

●平成24年度旭市教職員歓迎式

●平成24年度旭市春のへら鮎釣り大会表彰式

●旭市民生委員児童委員連絡協議会定期総会

●第175回千葉県市議会議長会定例総会

●旭すみれ会総会

●関東市議会議長会第2回理事會

●第78回関東市議会議長会定期

●総会

●第7回旭市商工会青年部通常

●総会

●NPO法人地球環境共生ネットワーク講演会

●総会

●長熊釣堀センター春のへら鮎釣り大会表彰式

●総会

〈5月〉

●全国自治体病院経営都市議会協議会第70回理事会

●全国自治体病院経営都市議会協議会第40回定期総会

●旭市商工会女性部通常総会

●第54回旭市納税貯蓄組合連合会定期総会

●旭市商業振興連合会第6回通常総代会

●千葉県北総地区市議会正副議長会定例会及び視察研修会

●旭市ボランティア連絡協議会

●総会

●第56回千葉県東部五市体育大会

●総会

●全国市議会議長会第88回定期

総会

●旭市母子寡婦福祉会総会

●平成24年度旭市PTA連絡協議会第1回代議員会(総会)

●消防団ポンプ操法訓練激励会

●第57回あさひ舞踊会

●旭市観光協会第34回通常総会

●平成24年度旭市防犯組合連合会総会

●千葉県自治体病院経営都市議会協議会第29回総会

●旭市七夕市民まつり第1回企画委員会

●市内小学校運動会

●平成24年度旭市消防操法大会

●旭市老人クラブ連合会定期総会

●総会

●市内小学校運動会

●平成24年度旭市消防操法大会

●旭市老人クラブ連合会定期総会

●総会

●市内小学校運動会

●平成24年度旭市消防操法大会

●旭市老人クラブ連合会定期総会

●総会

議会を傍聴しませんか

第3回定例会は9月5日(水)から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビや、市ホームページで議会ライブ中継をしております。

また、議会録画中継(本会議)も日程終了後の概ね7日程度で視聴することができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎62・5304
FAX 62・5384

平成24年度

旭市 子ども議会

7月 24日に本庁舎3階の議場で、平成24年度子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小中学校20校から22名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。

議事進行役は旭市議会の林俊介議長が務め、答弁者には市長をはじめ教育長、各課長が、それぞれの質問に対して答弁にあたりました。

市政に対する質問では、安全な通学路の整備や防災対策など多岐にわたり、執行部の答弁に対し再質問が出るなど積極的な議論が行われました。



■多田遼平(中央小学校)

- スプレーによる落書きについて

■永山朋佳(中央小学校)

- 津波予防対策と安全に遊べる場所について

■江ヶ奇梓(琴田小学校)

- 地域交流活動と子どもの参加について

■花岡秀吾(干潟小学校)

- 市の防災対策について
- 通学路の整備について

■高橋春香(富浦小学校)

- 富浦地区の通学路の整備について

■岩井榛花(矢指小学校)

- 矢指地区民の避難と公共施設のバリアフリー化について

■金澤菜々子(共和小学校)

- 安全で安心な通学路へ

■小林陸(豊畑小学校)

- 自然とふれあって感じたこと

■千葉圭太(鶴巻小学校)

- 震災に備えた公衆電話の増設について

■多田明音(滝郷小学校)

- いきいきプラン事業について

■小林純花(嚶鳴小学校)

- 通学路の安全を守る設備の設置

■宮内淳志(三川小学校)

- 旭市の高齢者に対する福祉について

■野口彩咲(飯岡小学校)

- 津波に備えた海岸整備について

■内田麻里愛(中和小学校)

- 通学路の安全確保について

■水野柚月(萬歳小学校)

- 環境保全の取組について

■石田惇平(古城小学校)

- 旭市内の小学校の運動場の整備と遊具の充実について

■加瀬真吾(第一中学校)

- 旭市におけるスポーツ振興の取組と中学校の部活について

■越川新菜(第二中学校)

- 旭・飯岡の仮設住宅について

■戸村萌音(第二中学校)

- 旭市の今後の市政構想について

■浅野雄汰(海上中学校)

- 通学路の整備について

■佐藤貴郁(飯岡中学校)

- 新校舎建設に向けての要望

■宮澤花菜子(干潟中学校)

- 干潟地区の万歳自然公園の整備について



旭市議会だより編集委員会

- 委員長 島田 和雄
副委員長 宮澤 芳雄
委員 柴田 徹也
委員 飯嶋 正利

(委員・柴田 徹也)

今年も実りの秋到来です。本紙編集委員会のメンバーが改選されて今回で3回目の発行となりました。どうすれば市民の皆様に限られた紙面の中で、より身近に、そして正確に議会情報をお伝えできるのか、模索を続けているところです。活動内容をすべて掲載できない以上、到底完全にはなりません。次号はよりステツプアップした議会だよりをお届けできるよう努めてまいります。

編集後記